

岐阜県立大垣桜高等学校学校 いじめ防止基本方針（要点）

生徒指導部の目標

- すべての生徒に公平に接し、毅然とした態度で対応する。
- 職員間の共通理解、情報の共有化を図り支援を必要とする生徒を早期に発見し、組織で対応する。
- 社会の一員として自覚をもち、主体的に判断し、自立心をもって行動することができる心を育てる。

本校の教育目標

- 人間としての在り方・生き方を考えさせ、人間性豊かな生徒を育成する。
- 専門の基本的知識・技術を生かして、生活産業や地域社会に貢献できる生徒を育成する。
- 広く社会において、信頼と尊敬を得る社会性のある生徒を育成する。

いじめの定義

児童等に対して、当該児童等と一定の人間関係にある他の生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

関係法令等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- いじめ防止対策推進法
- 学習指導要領
- 国・岐阜県の基本方針

いじめ防止のための基本理念

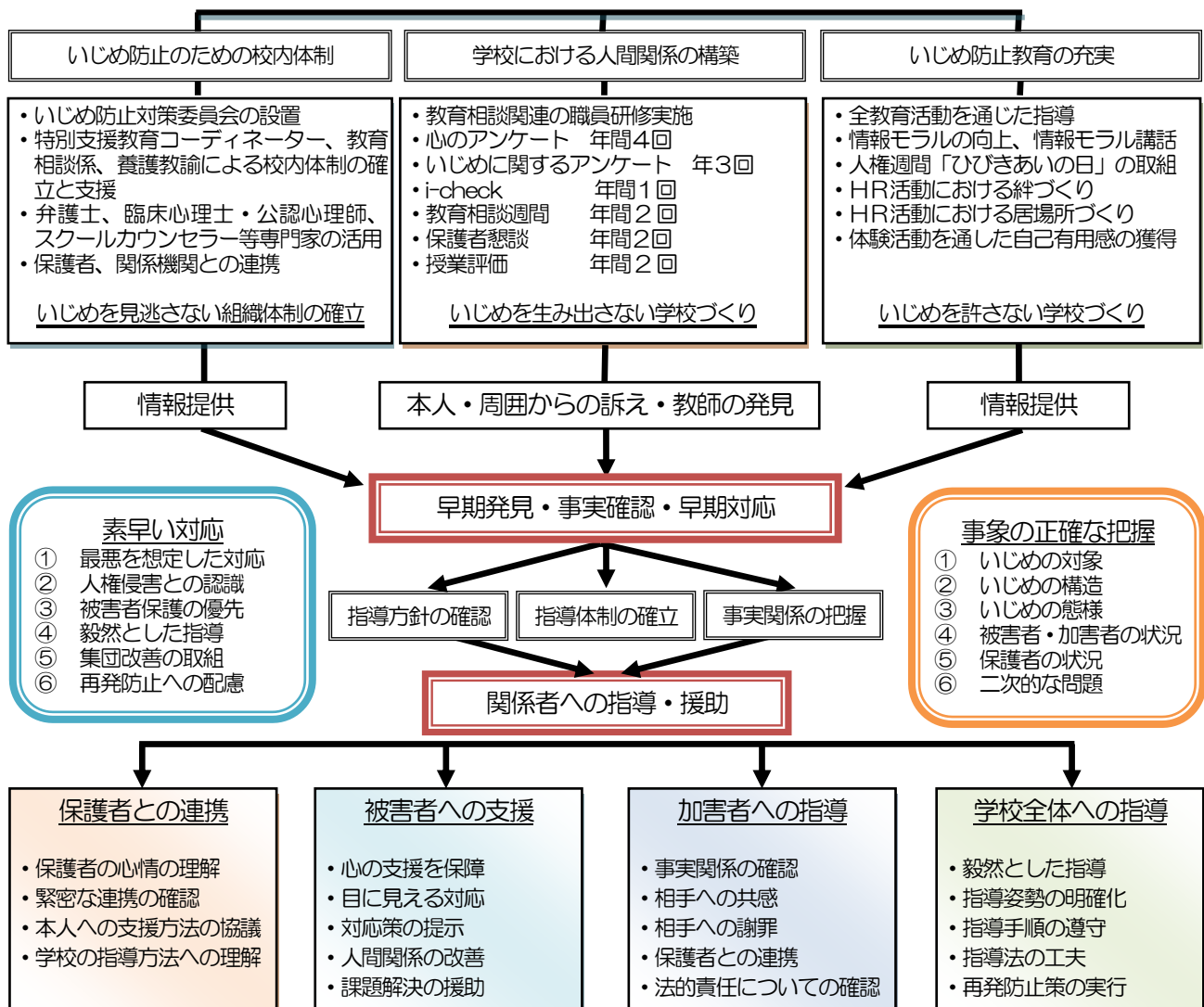
いじめは、すべての生徒に関する問題であり、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、心身の健全な成長や、人格の形成への重大な危険を生じさせる恐れがあるものである。

したがって本校では、すべての生徒がいじめを受けることがないように、すべての生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」に取り組むとともに、積極的な生徒理解と深化をはかることにより、いじめ防止等のための対策を行う。

いじめ防止対策委員会

- 【学校関係者】
- 校長・教頭
 - 生徒指導主事・学年主任
 - 教育相談係・養護教諭
 - （関係職員）
- 【第三者】
- 弁護士
 - 臨床心理士・公認心理師
 - 保護者代表（育友会長）
 - 地域代表（卒業生）

未然防止の取組



素早い対応

- ① 最悪を想定した対応
- ② 人権侵害との認識
- ③ 被害者保護の優先
- ④ 毅然とした指導
- ⑤ 集団改善の取組
- ⑥ 再発防止への配慮

事象の正確な把握

- ① いじめの対象
- ② いじめの構造
- ③ いじめの態様
- ④ 被害者・加害者の状況
- ⑤ 保護者の状況
- ⑥ 二次的な問題

